

平成 25 年度 第 1 回 仙台市景観総合審議会 景観部会 議事録

日 時 平成 25 年 10 月 18 日 (火) 午後 14:00~16:00

会 場 庄建上杉ビル 2 階会議室

出席委員 石田 秀輝委員, 渋谷 セツコ委員, 馬場 たまき委員
巖 爽委員, 渡辺 祥子委員

欠席委員 志賀 秀一委員, 宮原 博通委員

1. 開会 2. 課長挨拶	
糸賀課長	<p>どうもみなさま、お忙しいところありがとうございます。</p> <p>ご承知の通り 2 年間の審議会の委員の区切りというのが 11 月 1 日ということで、今回の部会と 28 日に今度やる審議会で一度区切りがついてしまうものですから、今日の部会もそれから 28 日の審議会もなるべく先生方に御発言をしていただこうと思っています。特に審議会の委員の数がとても多い審議会なものですから、なかなかご発言の時間を十分におとりできない時も多いので、是非今回と 28 日いろいろな普段からの思いをお聞かせいただければと思っています。</p> <p>では、今日はよろしく願いいたします。</p>
3. 会長挨拶	
石田部会長	<p>今日はお忙しいところありがとうございます。座ったままで失礼いたします。</p> <p>昨年度でしたっけ、時間のある方でみんなで歩きましょうという街歩きをして、その時に渋谷さんなんかは一生懸命ずっとやってらっしゃったりして、私自身は本当に現場を知らなくてかなりショックを受けたというのがあります。</p> <p>景観、景観と言っていながら歴史物があつという間に驚くほど減っていつて、その歴史的なものを行政的に守る手法はない。</p> <p>その中で景観というのをどういう風に残していくのか、あるいは残すことだけが正しいのか、新規のものを景観の中に取り込んでいくって新しい世界を創造する必要があるんじゃないかな、そんなことを思いながら去年ちょっと複雑な気持ちで歩かせていただいて、そのあと課長をはじめとしていろんな方と色々な議論をして今日に至っているわけでそして第一回の今年の景観部会が再景観部会ということになります。</p> <p>ともあれ今日の先生方の貴重なご意見を 28 日の全体の審議会の参考にさせていただくことも含めて、短い時間ですけど是非たくさんのお話をいただければいいなと思っています。</p>
4. 議事 (1) 街並み形成シートの検討について	

石田部会長	<p>それではまず、署名委員は私と巖先生でお願いいたします。</p> <p>それでは、街並み形成シートこれが今日のメインの検討事項なんですけど、それについて事務局から説明お願いいたします。</p>
事務局	<p>【街並み形成シートの説明】</p> <p>街並み形成ガイドラインの作成に向けた取組みについて、これまでの検討経緯を振り返りながら、お手元にお配りの「資料－１」の内容に沿ってご説明いたします。</p> <p>本ガイドラインにつきましては、景観計画本編５６ページの「今後の推進方策」にありますように、景観計画の趣旨を踏まえ、個別の地域ごとに詳細な景観誘導を促すものとして作成を図っていくとしております。</p> <p>これまでの検討の中で、平成２１年度に行った現況調査をもとに、景観資源の分布や歴史的な町割、現在のまちの特性などから、ガイドライン作成の対象となる地区を設定いたしました。</p> <p>これらの地区について、「街並み形成シート」を作成し、各対象地区の中で優先度の高いところから地域住民との話し合いを進め、長期間に渡る取り組みで、最終的に全地区のガイドラインを整備していくこととしておりました。</p> <p>この方針を踏まえ、街並み形成シートの作成を進め、各対象地域の歴史性や特性、地域内の景観資源、ガイドラインにつながるまちづくり誘導部分などをまとめ、４、５年をかけて全地区のシートを作成する予定でした。</p> <p>この街並み形成シートを、地域のまちづくりへの呼び水として活用し、地域住民と協働でガイドラインの検討を行い、強制力のある景観地区などのルールやゆるく誘導するための誘導指針など、さまざまなレベルのルールを包含したガイドラインを、１地区あたり３年～５年をかけて作り上げていくこととしておりました。</p> <p>こうした中で、定禅寺通や宮城野通で既に作成済みで、青葉通で現在検討に入っております</p> <p>平成２３年の震災の後、景観部会では、まち歩きをした上で、ガイドライン作成の取組みについての議論を行いました。</p> <p>この景観部会での議論を踏まえまして、街並み形成シートの内容と活用について再検討いたしました。</p> <p>内容については、地域の景観資源を紹介する部分に重点を置き、検討に時間がかかるまちづくりの提案の部分を薄めました。</p> <p>また、活用方法についても、これまでの地域のまちづくりの呼び水に留まっていた利用から、広く一般にも公開し、景観への意識を喚起するために積極的に活用していくと、方向性を修正いたしました。</p> <p>また、地域住民との議論を重視し、全地区のシートの内容を盛りだくさんにするのではなく、地域に入ってガイドラインの検討を進めていくことに力点をおくことといたしました。</p> <p>更に、まち歩きなどの結果を踏まえて、ガイドラインの検討の視点についても、残っている古い遺産だけを見るのではなく、まちの背後にある歴史を踏まえ、点在する景観資源を視覚的につなげていくという視点に立って検討を進めることといたしました</p> <p>今後は、これまでいただいたご意見等を踏まえ、街並み形成シートの中身を一般公開に耐えうるようブラッシュアップし、活用策を検討してまいります。</p>

	<p>一方、ガイドライン作成に取り組む地域につきましては、優先度の高い地域を見極めながら、今後個別に当審議会での議論を踏まえて、検討していきたいと考えております。</p> <p>以上、街並み形成ガイドライン検討についてのご説明を終わります。</p>
石田部会長	<p>はい、どうもありがとうございました。</p> <p>いっぱい情報が今皆さんの方に入ってきたんですけど、ちょっとだけ整理をしておきたいと思いますが、一番最初平成 22 年ですけどガイドラインの地域設定をして、そのガイドラインを作る為に地域の街並み形成シートをみんなで作りましょうという話で、その街並み形成シートを土台にして、ガイドラインの設定をしていく。そういうことを考えると一つのところに何年か掛かる、トータル 100 年ぐらいかかるけども、でも地道に優先順位を決めてやりましょうねっていうのが一番最初のガイドラインでした。その後震災の後、去年の 11 月でしたっけ、皆さんと街歩きなんかをしながら、少し思いを変えていきました。もちろん全体の審議会から了解を得てという感じですけども、景観資源の紹介というのをまずメインにして、とにかくみなさんに震災で被災を受けた後も、でもやっぱり地元は素敵なんだよということも含めて、その辺りのところを少しまとめ直して一般に公開できるものを先に作っちゃいましょう。そういう先に一般公開できるようなものを作り上げて、その後、地域と一緒にターゲットを絞り込んで地域に働きかけていって、本質的な目的であるガイドラインに繋げていきたいと思いますという方向転換をしました。</p> <p>現在までにお手元にありますけども 33 のエリアのシートが完成しているというところですよ。</p> <p>その経緯というのはよろしゅうございますでしょうか。その経緯を含めまして今お手元にある 33 のシートと、前作ったものとはかなり違って、街並みについて、どちらかというところの 33 シートのほうは景観というのに重きをおいてあって、街の景観というところから少し距離を置いてある。そんな格好です。</p> <p>これから、一般公開するこのシートをどういう風に、ちょっとずらっと見ていただいて、さらにブラッシュアップする為には何が欠けているのかとか、というような話あるいは、それをさらにみんなに浸透してやっぱり杜の都っていろんなことの切り口があるんだな、とってても杜の都は素敵だな、うちの我が街には我が通りにはいろんな歴史もあるし、素敵なものも一杯あるんで、ということも多くの方にわかっていただく為には自分の街に誇りを持っていただく為にはどういう政策があるんだろう、それもブラッシュアップのひとつです。そんなことを議論すればいいのかなという風に思っています。</p> <p>ということで、ちょっとこの横長のやつとそれから前のやつの違いはこれを見ていただいて、少し皆さんの思いなり何なりを遠慮なく言っていただく、語っていただく今日はもうそれ以外他の議題はないということでそこを見て頂いて今年もこれで最後になりますんで、皆さんの思いを教えていただければと思います。</p>
渋谷委員	<p>これ、先ほど完成とおっしゃったんですが、完成なんですか？</p>
早川係長	<p>いわゆる委託事業で報告書として上がってきた現況ですので、今後職員が地元に行って景観資源ですとか、ビューポイントとかを今後考えていかなければならないという状況でございます。</p>

石田部会長	欠けてる所を言わないと。
渋谷委員	<p>すごく前から比べるととても何を言おうとしているのか分かりやすくなった点と分からなくなった点があるんですけど、分からなくなった点は地区の呼び方なんですけど、こうだったのですか？例えば道路を元に県道なになになになに地区とか県道仙台泉地区とか。</p>
石田部会長	今どこの話ですか？
渋谷委員	<p>この表面の作成対象地区っていうのがあって、例えば愛宕上杉通地区っていうの位は分かるんですけど、例えばあと国道 45 号線地区とかありますよね。それはいわれただけではピンとこないんじゃないか。国道 45 号線こだけ走っているわけではないので。ごめんなさい国道 4 号地区でした。こだけ走っているわけじゃないのにこう言っちゃっていいのかなって思ったんですけど、これはみんなで決めたのかなっていうのを忘れちゃったので、ここを教えてもらいたいのと、あとそういう風な呼び方っていうのはまだ検討の余地があるんですか？それ確認したかったのです。</p> <p>それと全体の印象なんですけど、先ほどの続きですがとても分かりやすくなった点もあって、いいかと思いました。それで、あとは希望なんですけど最初に勝手な希望で言っちゃっていいのかわかんないんですけど、後で言うチャンスがないかもしれないから今後こういう風になってたらいいなと思うものをお話したいんですけど、一番最初の地区を検討したときからそう願っていたんですけど、中々実現も難しいのででも今後もっと検討してってもらいたいものに奥州街道沿いレイヤーにさせていただいて奥州街道地区っていうんですか、そういう奥州街道巡る歴史景観地区みたいなね、そんなレイヤー地区を是非もってきてもらえたらすごくいいなって思うのと、それからその同じレイヤーでやってほしいのが将来にわたってなんですけど、たたき台はこれでいいんですけども市民が推薦する散歩道とか、それから走りたくない走る道とかジョギングするのにいいんだけど、とっても気持ちいいからついつい止まってしまうよみたいな走りたくない走る道マップとか子供にお勧めしたい道草マップとか、それから先ほど言った奥州街道歴史景観マップみたいなものがここに積み重なっていったらいいなって思うんです。</p> <p>それでそのやり方ですけど、これをもしみんなに、市民の方たちに見て頂いてその地区っていうものを認識していただいた時にそれを何遍もワークショップでもいいから市で運営していただいて、歩いていただいてそのビューポイントも含めて守りたいもの守りたいビューポイントとか、それから守りたい景観の要素とかをちゃんとリストを挙げていただいて、あともう一つは変えていきたいものですね、何か変えていきたいものとかをちゃんとリストアップしていただいてそれをこの様な景観部会の様な所で専門家に検討していただいてこれを変えていくっていう風にするのがいいんじゃないかなって思いました。</p>
石田部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その素っ気のない国道 4 号っていうそれはどうですか？確かに味気ない。</p>
早川係長	<p>確かに 4 号地区というのもこの辺につきましてはちょっと確かに今言われてはっと気づいたところでございます。もう少し地域の例えば歴史的な先ほど渋谷委員からお話あった奥州街道とかです、そういった切り口を少し考えていきたいなという風に感じてございます。</p> <p>4 号地区とか 45 号地区も全線対象にしているわけではございませんの</p>

	<p>で、ある一定の区域だけを対象にしているものでございますので、少し地域現在の地理的な公共施設としての道路でもって付けた名前になっておりますけれども、確かに本来街並み形成シートの正確な使い方を考えますと渋谷委員のおっしゃる通りの切り口でもって少し考えていきたいなという風におもいますので、今後また名前については検討それからその奥州街道地区も含めてなんですけども、その検討の中でおそらく対象とする地区も変更さらざるおえなくなるかなということも思いますので、引き続き検討していきたいと思っております。</p>
石田部会長	<p>名前っていうのは顔ですから、なにも昔の通りの名前に固執する必要もないと思うんですね、だからさっき渋谷委員がおっしゃったように守るものとか変えたいものっていうのが、このシートがとりあえずたたきだいになって少しその色んな人からの意見をもらった時にそういう程よく4号とか45号とかちょっとちょっと殺伐としてるといふか寂しいよねっていうことにコメント入れた時にどんないろんな方から反論くるんだろうみたいな調査があっただけかな。</p> <p>僕がちょっと気になっているのがほんとに大事にしない景観もあるんだけど、やっぱどどん生まれてる景観もある。だからある部分は本当おしゃれな現代風の名前が付いた名詞、ある部分は少し昔の歴史を大事にしようというようなことがあって、そういうフレキシビリティっていうのがあってもいいような気もするんだけど、どうですかねそれは僕が今勝手に言ってるんで、委員の先生方にご意見いただきたいんですけど。</p> <p>それがまずひとつね。それから渋谷さんがおっしゃった道草マップだとか走りたいけどなんだっけ、走れない道というのはきつとおっしゃってたシートの上に重なる一つ概念ですよ。だからそれはどっか絵にやっぱりしたいですね。</p> <p>守りたいものとか変えたいものも含めてそれはやっぱりシートという町全体の中で、こうポコンポコンと繋がっていくものだと思うんですよ。だからこのシートの使い方というところが概念の中にそういうものがあってもそういうものがあってもそれはそれで僕は素敵だなんていう気はしますけどね。渋谷さんの意見とずれていなければ。</p>
渋谷委員	<p>走りたくない走る道とかっていうそういうおまけ的なものって市民はすごく好きだと思うんですね。そして興味を持ってくれるとっかかりになるんじゃない景観というものに対してそこはすごく本当は大事な所じゃないかと思うんです。</p> <p>興味を持ってもらわないと「景観、勝手に作ってるものでしょ」なんて言われたらそれで終わりですよ、入り口入ってきてくれないわけだから。だからまずお店にきていただくのが必要だと思うので、それでその体裁ですけど、もしこれをまとめてやるとしたらオーバーレイするものを例えばセルで作るとか何かそういうおまけブックみたいな、そういう想定で付録があるじゃないですか。トレーシングペーパーでもいいし、何か重ねて実際みる。いっぺんに書いてあるだけじゃなくて、どうせお金掛かるならちょっと位、その位おまけ的なことをやると喜んでもらえるかなと思いました。</p>
石田部会長	はい。あと他の委員の方々、そういうような何か感じる所ありますか。
巖 委員	<p>よろしいですか。</p> <p>最初説明を伺いながらずっと思っていたのが、これをこのシートをせっかく作ったからどういうアプローチで市民の人達に浸透させて、それから市民</p>

	<p>から参加してもらえるとというのはどうすればいいかなと思ったんですけども。例えば地域に戻して一緒に考えていくっていうのが今までどういう形で例えば今できたこれとか、どういう形でやっていますか？</p>
早川係長	<p>今の出来た33地区のシートからこういったガイドラインというところにもっていきかたなんですけど、それにつきましてはまず33地区たくさんございまして、一度に全部というのはもちろん出来ない。それについては先ほどご説明でふれましたように審議会などで優先順位を検討してもらってそれを踏まえて入っていくところをまず決めます。</p> <p>その時に今例えば住んでいらっしゃる方とか、あるいは働いている方の中でも自分の住んでいる、働いている街が一体どういう街なのかということがまず知らない方もいらっしゃいます。よく知っている方と全然知らない方その中間の方いろんな人がいる中でまずは現在の街になるまでのこれまでのその歴史的な所とかそういったものを知ってもらうという最初の一步がまずこれになるかと考えています。これでもって先ほど石田委員からもご指摘ございましたけども、それから渋谷先生からもご指摘ございましたけども例えばその残したいものとかですね、あるいはビューポイントでもここから見たうちの街は非常に綺麗なんだよとかですね、そういった意見をどんどんあげてもらって我々と一緒にじゃあどうしたら、どうしていったらその街が更に良くなるだろうかというところを一緒に検討していくということを重ねていって最終的にはガイドラインというものにしていきたいということを考えております。</p>
巖 委員	<p>なんとなくやはり市が行政が主導して行政主導のアプローチですかね、やはり行政が誘導的で、市民主導が形に持っていくとやはりたぶん一番有効的にガイドラインが最終的に守っていただくというか使う有効なものになるのが一番良いと思う。</p> <p>例えば地元の商店街なり自治会なりに働きかけてそこを主体でワークショップをやっていただくとか、あるいは例えばシートを教育委員会から小中学校へ働きかけて、その小中学校の総合的学習とかカリキュラムの中に取り入れて、そうするとそういう街歩きをそれぞれの小中学校からスタートしてその中から子供たちは知らないことも多いでしょうけど、お父さんお母さんおじいちゃんおばあちゃんに聞いたりとか、そこから出てきたものを行政とか市、この審議会とかそういう組織が最終的にまとめるとか。</p> <p>やはりトップダウンじゃなくて、下から出発しないと中々うまくいかなくてそれをただ実現するにはこれをやるというよりまずシステム作り体制作りが非常に大切で、そこはやはり縦割り行政とか教育委員会とここは全然別々でやるんじゃないかとお互いに協力し合う関係を市から努力していただきたいかなとなんとなくそう思いました。</p> <p>実はしばらく前大崎に仕事で行って、たぶん皆さんご存知だと思いますが駅前通りが同じ通りなのに途中でガラッと雰囲気が変わったんですね。半分は非常に街灯とかこだわりのある造りで、かたや半分はすごい殺風景で。話を聞くとやはり商店街のここでプチッと分かれていて、意識が高い商店街は良い街並みを造っていて、あんまり関心のない商店街だと全然違うものになっているんです。やはりそこから啓発していくと一番有効的じゃないかなと思いました。体制作りは難しいかもしれないんですけど、そういう所をなんとかできればなと思います。</p>
渡辺委員	<p>通常は商店街や町内会に持っていくんですか？</p>

早川係長	先ほど一般公開をしていくというその活用の仕方を考えていくということでお話いたしましたけれども、一つに厳先生おっしゃるようにまち歩きとかに活用してもらおうという意味もあって、シートの裏側にこれで見ると表側になりますけども、折ったときの裏側に例えばこんな街並みというのを提案しています。その下に私ならこんな街並みをということでも自由に書けるようにしているというのがそういった街歩きなんかで活用してもらって、例えば小学校中学生とかですね、子供たちの視点で見たときならこんな街並みとかですね、そういったことをちょっと想定はしていたんですけどもただまだ体制づくりというところまではまだ検討していなかった所なので、渋谷先生とかが子供達と建築と子供たちとネットワークで子供たちと一緒にやっている事例もございますので、そういったところを少し意見をもらいながらちょっと考えていきたいなと思います。
厳 委員	渋谷先生が頑張っているというか、その地域がすごい良いことは出来る。それを体制としてどの地域でも、その先駆けとして事例と同じように色々な地域で同じようなことが出来る体制づくりを考えていけたらなと思う。
早川係長	そうですね。一番理想として考えているのは、これを我々は単に配るだけでこれを地域の人達が使って色々考えてそれを役所に意見を言ってくれるのが一番良いのかなって思っているんですけど。
石田部会長	その為の仕掛けっていうのはどうですか？委員の方々今まで色々やってらっしゃって。確かにその子供アップっていうのはすごく大事なんですけども、もちろん商店街がやるといかに儲かるかっていう視点で物を見るわけです。子供たちはまた違うからその色々な切り口あっていいです。今まででも経験されてて、こんなことをするとおもしろいんじゃないっていうのがあれば少し話していただきたい。僕も勉強したいので。
渡辺委員	アイデアではないんですけど、例えばすずめ踊りって今どこの小学校でも運動会で踊りますよね。でも15年くらい前は協賛会の人達のすずめ踊りの団体が結構出前で教えに行ってるんですよ。最初のうちはあんまり20年くらい前復活、少なくとも15・16年前は出前に行ってたなっていう思いがあって、今は当たり前のようにどこの小学校でも踊ってるんですね。
石田部会長	どういうときに踊るの？
渡辺委員	運動会。例えば私は宮城の県北なんですけど、例えば大漁唄いこみをこう全員で踊ったり、こきりこ節を踊ったりっていう運動会で全員踊る。
厳 委員	何かあると踊るんですよ。
渡辺委員	そういう踊りが運動会であるんですけど、それが今たぶんすずめ踊りが結構やってるようなんです、わりと。全部ではないと思うんですがそうすると、そういえば我々の仲間が出前事業に行ってたなって、10年以上前なんですけど。てことは、それほど浸透はしていなかった時代があって今という風に、一様にではないかもしれないけど、当たり前のようになってって、私も実はこのマップを拝見したときにそのガイドラインをつくるとか、そういう取り組みの前にどうしても教育の方が気になって、これ子供たちの関係者ならすぐ総合学習とか出前事業のシートに出来そうだなって思って、それが例えば学校の学生と先生と一緒に作ったプランが出前していくっていうような、そういうの、シートとしてすごく良いものだなって思って、ちょっとすずめ踊りのこととか今思い出したら厳先生が学校っておっしゃったのですが。 例えば小学校と中学校連携させた取り組みとかっていうモデル校ってありますよね。学校全体市内の学校でも5・6年生と中学生と絡めて中学生に

	<p>なったときの色々な障害あつたりする成長の過程で、それをなくす為にやっ てるモデルの学校って何校かあるんですけど、何校かそういうモデル校みた いなにつくって小さい頃からやっぱり景観というものを意識させていくつ ていう、それこそ何十年もかけてこれをつくるということを考えると今今の ガイドラインを大人たちと検討すると共に、やっぱりそのアプローチをや っていくと当たり前のように街並みとかを意識する大人になる。</p>
石田部会長	<p>その時のアウトプットって何？子供がガイドできるようになるの？出来 上がった姿っていうのはどういう姿がある？</p>
巖 委員	<p>ガイドっていうより今の要するに都市とか街とかに関心を持ってる人が ごくごく一部の建築屋さんみたいな業者さんって言われてる人達で、一般人 はあまりにも無関心で、こういうガイドラインがあると面倒くさいとかって 思われたりするんですよ。少なくともその取り組みを子供たちからやって いくと、街並みに目を向かせるというか関心を持つ。</p>
石田部会長	<p>だから、目を向けてるっていうのはどうやったら計れるの？</p>
巖 委員	<p>そうするとやっぱり子供たちが大きくなったらケバイ看板を自分から出 そうとしないっていうかそういう見えないところで意識が変わってくる。</p>
石田部会長	<p>大人になんなくても子供たちが意識で「あれ、変だ」って言ってくれば いいんじゃないの？それは難しい？</p>
渡辺委員	<p>目を向ける機会を作るってことですかね。</p>
石田部会長	<p>いや、すずめ踊りは踊れるようになる。今僕すごくいいアイデアでたと思 う。出前事業やって、子供たちに一生懸命教えると子供はどう変わる？精神 的にはきっと巖先生おっしゃったように、そこがじっと心の中に入っていっ て、それが自分の街は素敵なんだ、誇りを持ってそう思う。それはわかるん だけど、例えばもし、こういう事業をやろうとしたらどういふものさして子 供が成長したのが見えるんだろう？それが見えないと何か、もう一個何か欲 しいんだよな。</p>
渋谷委員	<p>それってすごく難しいことですよね。市民的に全員が市民が明確に分かる 様な、一様になっていくことじゃなくてその地域の子供達が景観に対して関 心を持つようになったっていうのを分かるようにするっていうことは難し いと思うんですけど、でも唯一それは学校で出来るんですよ。学校の総合学 習で出来るんですよ。</p> <p>前に南小泉小学校でそういうような総合学習した時に、子供たちに一番最 初にその街を未来の街をつくらうというのを始めたときに、子供たちと街探 検をしてそれで何か気が付いた事とか書かせるんですよ。そうするとほとん ど言葉が出てこないっていうか、あんまり気がつかないんですよ。それが 街を見に行ってその街の人達と接したり、それから物をつくったり、音を聞 いてデザインしたりとかそういう活動が進むとまたいくつも増えてくるん ですよ、言葉が。</p>
石田部会長	<p>何度も何度もやるわけだけど、そこは誰がコーディネートするの？</p>
渋谷委員	<p>それは、そういうプログラムをもってる NPO と先生ですね。先生の存在 は不可欠ですね。だからそういうような総合学習がやれてくると、子供たち はその言葉が出てくるんですよ。その街に対しての感想も。だから何もな いときにこの街が一体どう思うとかどうなったらいいかなんて聞いたってね、 何も出てこないんですよ。</p> <p>客観的に見るっていうことが一つ大事ですよ。その街いつも通っている ところは点と点を結ぶだけだから、学校とあとちょっと寄り道した場所とか</p>

	<p>3箇所ぐらいしかないんだけど。それを客観的にどういうところがいいのかな、悪いのかな、不思議なのかなって見て歩くっていう事が大事なんでそれも一つの方法かとは思んですけど、それをこういうものでやるっていうのが中々難しい。</p> <p>だからこれを活用してやるっていうことは出来ると思う。</p>
渡辺委員	活用しながらベースにして、そういうことも。
渋谷委員	そうです。だから、そう活用できるようなものにしてかなくちゃいけないってことですよね、そうなる。学校でも使えるように。
石田部会長	そのたたき台としては、これだからそういうのでブラッシュアップしてあって、今の出前事業をやるとしたらこれでは圧倒的に不足をしてるとか、まずはこれでとっかかりとか、その辺の感覚はどうなのか？ものによってでこぼこ。
渋谷委員	そうですね。例えば晩翠通り地区とかを見てたんですけど、裏の地図に書いてある景観資源を見てみてもなんの魅力もないでしょ。それだったらこの地区止めてもいいんじゃないかって思うぐらいです。かえって逆効果になってしまうってことはありませんか？
巖 委員	昔はあったとか。
早川係長	晩翠通りというより、細横とかって言ったほうがいいのかもかもしれない。
渋谷委員	どこが魅力なのっていう感じじゃないですか。
巖 委員	そう。ほんとに 2 箇所の話をして申し訳ないんですけど、勾当台公園のマップ錦町公園周辺地区の所でオンワード樫山仙台ビル在所、昔すごい建物があった。
渋谷委員	何枚目ですか？
早川係長	2枚目ですね。
巖 委員	私が仙台に住んで 12 年位ですね。最初来た頃にここが料亭だったんですよ。そこだけ仙台の中でちょっと雰囲気違っててすごい印象的だった。逆にそういうのがおもしろいというか、今はもう無くなっちゃって。
渋谷委員	八百条じゃなかったでしたっけ？
早川係長	八百条です。
巖 委員	<p>そういう昔あって、結構良かったものが今はこういう風に変わったっていうものもあるとおもしろい。</p> <p>例えば、また話戻ってしまいますけど、仙台市が一つの地区に働きかけてそういう声を集めてガイドラインをつくるのはすごい労力も掛かるし、時間も掛かる作業になってしまうんですよ。それを町内会とか自治会とかに少し声を集める感じ進めたらいいのでは？</p>
馬場委員	<p>どんな切り口で話そうかなって悩んでたんですけども、一見建築マップみたいに感じるのはなぜかなって。一つ一つの建物を紹介しているみたいな感じにどうしてもなっちゃって、文章読むとその一体ですっていうのが分かってくるんだけど景観といったときに、こちら側の視点で何を伝えたいのかなっていう風に思ったときはやっぱり、つくる・守る・育むぐらいのキーワードで読んで欲しいなっていう願いがあったとすれば、もうちょっと写真一枚ずつではなく景観を一体で見せてあげたほうが良いのかなって。</p> <p>初めて見る人は、景観ってもっと一体の風に私なんかは思うんだけども一個ずつこの茶色いポイントが記されているとそこの建物みたいなものを造って下さいっていう風な資料なのかなっていうのを伝えたいのかなって</p>

	<p>という風に思うのですが、そこはどの辺りを思っていたらよろしいでしょうか？</p>
早川係長	<p>ブラッシュアップをしていく再三申し上げているんですけども、実はこの景観資源マップというところで、今後重要になってくるというのは、右にちょっと書いているビューポイントのところなのかなって思ってます。そういう意味では単体の建物とかなのではなくて、少し街並みの良い所をピックアップして行ってそれをふまえて例えば何か建てる時とかですね、こういった街並みに配慮して調和したものにしてほしいという方向でもっていきないう風には考えています。</p> <p>今現在こうやって載っている景観資源マップは、先ほどの晩翠通りの話であまりないんじゃないのというのもありましたけども、ある意味これまで調査したりして集めたものを載つけられるだけ載っているというような部分も確かに実際はございます。今後は本当にこれがこの街の中でこういった特性をもって歴史性をもって、こういった背景があり街の中でこの建物が本当に景観上資源となりえるかどうかということをおまえて考えていかないといけないかなという風な感じをもっておりましたので、数にしても多いところ少ないところあるんですけども本当に景観上大事なものっていう視点で見たときにどれが残ってくるかというのは、ちょっと今のところまだみえてきていない。</p>
馬場委員	<p>わりとこの民間のものを載せるっていうのも中々難しさがあるのかななんて思うんですが、いかがなんでしょうか？</p>
早川係長	<p>了解もらうっていうそういうことでしょうか？</p>
馬場委員	<p>まあそれもあるし、あと毎年あるかどうかはわからない。</p>
早川係長	<p>更新されてしまうということですよ？</p>
馬場委員	<p>そんなこともあるし、その辺のジャッチっていうんですかね。</p> <p>その抽出作業っていうのはこれからってことであつたら、その辺を少し明確にしといた方がいいのかなって。</p> <p>広瀬通りの辺りはホテルとかそういったのが多いので、どこまで載せるのかなっていうのが一番疑問を感じました。</p>
石田部会長	<p>今すぐく大事な指摘なんですけども、事務局側は景観っていうか建物というところが強くて。ただ、さっきから皆さんの議論を聞いてるとブラッシュアップしていかうよとかって考えると、それはやっぱり文化ですよ。涌井委員長がよくおっしゃるように風景っていうのは風土でもあり、風味でもありとかそういう概念が入ってくるんで、景観っていうのもあくまでやっぱり文化的なファクターと文明的なファクターと両方入ってくるんで。だからブラッシュアップしようと思ったら必ずそっちの方にいっちゃいますよ。歴史観だとかそれから観て美しいのはもちろんなんだけど建物以外のもの。</p> <p>それを受け入れられるかどうかっていうのはすごく大事なファクター。</p> <p>ただ、ガイドラインを作るときにそういう風なことを、いろんな人が文化的な視点文明的な視点で見ながらその景色景観というものを見てるんですよっていう概念はとっても大事なんだけど、そっちへいくことに関しては事務局としてはどうなの？これとっても大事な分岐点を馬場さんは指摘いただいているんです。</p>
早川係長	<p>この一枚ものの資料の裏側の4番の進め方のかっこ3の所にも書いてるんですけども、例えば仙台市内で古いもので残ってるものって本当に少ない。希薄になってきている。そしたらどうしていくかというところで我々行</p>

	<p>政としては、通常「じゃあ建物は高さはこのくらいにしましょうね」とか「敷地の中でこの辺に配置しましょうね」とか、その辺の議論になりがちなんですけども我々のシートそれからガイドラインの取り組みの中では、当然今石田委員がおっしゃったような文化的なところは避けてとおれないところまでございまして、街歩きでご覧になったようにその景観資源が残っていないと。</p> <p>ただ、新しい古くない最近建てられたものとかですね、そういったものの中にもその背景には当然それまでの歴史・文化というのが当然あって今の状況に繋がっているというようなことで考えておりますので、そういったけんざいかというか目に見えてきていない歴史なんかもふまえて、それを景観資源、単体で残っているものを繋げていくようなストーリーづくり文化的なストーリーづくりをしていってそれを次に繋げていくという作業をシートをふまえてガイドラインづくりになんとか落としこんでいきたいなということ考えております。</p> <p>この定禅寺宮城野通りも、基準的なことを考えると建物の話になってます。高さとか色とかいわゆる基準になっているので、そこだけ見るとただの規制を強化しただけじゃないのという話になるんですけど、両地区ともそれまでの市民の活動の取り組みとかですねそういったところをふまえて、どうい街づくりを進めてきたかとあるいは、どういうものを目指しているとかを最初のほうで宣言をして、それから基準の中でも誘導指針とかありますけどもこの誘導指針というのは実は基準に出来ない部分を誘導指針に残しているものもたくさんございます。ようは文化的なものとかですね。</p> <p>そういった中々基準として言葉あるいは数値とかに表せないものを誘導指針という形で伝えてそれを未来に繋げていくというようなものが入ってございます。</p> <p>同じ様な考え方で今後シートをふまえてガイドラインつくっていくときには、文化的なところとか歴史的なところとかを繋げて紡いでいくような作業をしていく必要があるかとゆうことで考えております。</p>
石田部会長	<p>そうすると行政側としては出前事業だとか何とか結果的としては文化的なものに繋がるようなものに対しての予算立ては出来るってことなの？</p>
早川係長	<p>役所の制度でも出前事業というのが実はございまして。</p>
石田部会長	<p>例えばの出前事業なんだけれども、そういう景観というアクションを行政が取りながらも、最終的なアウトプットっていうのはルールじゃないですか。ガイドライン。その間にバッファとしてガイドラインをつくる為に色んな枝葉が伸びていく。その部分が例えば文化的な価値だとかそういうところまでを全部ひっくるめて、行政側が責任を取ってお金を出して、そういうアクションをしますってことは正当性はあるの？</p>
早川係長	<p>正当性は十分あるかと思えます。</p>
石田部会長	<p>予算立てできるってこと？だから、その話ならいいんだけど、予算立てがないから、渋谷さん悪いけど予算立てないからボランティアでどんどんやっってくださいって、そういう口では応援しますよっていうだけでは困る</p>
早川係長	<p>今日の説明ではしてないんですけども、例えばこのシートで国道45号地区とか色んな名前付けておりますけども、最終的に地元に入っていったりしたときにガイドラインとして作り上げるときに、おそらく国道45号地区っていう名前にならないと思います。</p> <p>あるいは、他の地区にしてもさっき最初に渋谷先生からお話あった奥州街</p>

	<p>道地区というお話ありましたけども、ストーリーとして奥州街道の繋がりで長く伸びているわけなんですけどこのシートで対象としているのはそれぞれの地区だけを引っ張ってきてみて、例えばずいぶん前にプレ街歩きをしました荒町とか奥州街道の南のほうの地区にしても、荒町から河原町のほうずっと歩いてみてもらったんですけども、その中でもいろんな特色・違いがありますのでガイドラインとしてはたぶんもっと狭い範囲でのガイドラインになるのかな、と思います。</p> <p>そういったことを考えると、例えば出前事業をしたりあるいは小学校と一緒に取り組んだりしたときに例えばこれは役所で勝手につくったんでしょ。私たちはここを対象にこういった資源があるって思っているんで、こういったシートをつくりますというようなことで逆に新しいここにはない地域のシートなんかもつくってもらったらいいいのかなっていうことをさっき聞きながら思ったことなんですけれども、そんなこともちょっと考えていきたいかなと。</p>
巖 委員	<p>質問してもよろしいですか？</p> <p>例えばこのシート荒町通り地区の色々有形文化財として指定されているものと、景観重要建造物として優先指定候補が指定して色々あるんですけども、例えばどういうものに対して改修とかに対して補助金が、またお金の話になっちゃうんですけど、補助金がもらえるとかその辺の制度。</p>
早川係長	<p>まず、我々の景観課の範囲の中でお話しますと、仙台市の景観重要建造物ここでいうと9番10番11番12番ですかね、景観重要建造物になってます。</p>
巖 委員	<p>10番は優先候補？これはまた違うの？</p>
早川係長	<p>すいません。9番11番12番。</p> <p>景観重要建造物になると、例えば古い建物だったりしますので補修をしないといけないとかですね、たまにあります。そういったときには仙台市から我々から助成金が出ます。</p> <p>それ以外例えば仙台市・国・県それから市のいわゆる文化財になっているものについてはまた我々と別の所で文化財を所管している担当のほうから、指定文化財か登録文化財かレベルはあるんですけども。基本的に指定文化財になっていけば、色んな助成金とかですね補助金とかが出るような形にはなっております。</p>
巖 委員	<p>逆に今勝手に取り壊しできないんですよ。要するにこの歴史のある建物を保存させていくには、やっぱり補助金がないとたぶん持ち直しが。取り壊してささっと建て替えちゃう</p>
渋谷委員	<p>そうなんです。何かを機会に例えば今回の大震災だとかね。傷んで直すお金がないから壊してしまう、いっぱいあります。</p>
早川係長	<p>例えば自治体によっては、この近くだと例えば盛岡に名田谷町という一帯の街があるんですね。そこに行くとき街並みが古い昔の町並みになっているんですが、実は古いものはそんなに多くはないんですよ。他は新しい最近建てられたものとかでそこでは新しく建てる時には助成金が出て、昔風の建物にするなら助成金を出して町並みとして一貫したコンセプトをもって創りあげてもらおうというような取り組みもしております。</p> <p>仙台市ではそこまで制度まではなくて、例えばこの荒町ちょうどこの景観重要建造物が建っているところは南材木町というところなんですけども、点在しているんですね。そこを本来であれば同じ様に他の建物も昔風あるいはこういったものに合わせたファザードなんかでやってもらえると、街として</p>

	<p>は一つの町並みとなってきますので、そういった制度がほしいという声も確かにあるんですが中々当然財源が必要になってくるところで、先ほども課長からありましたけれどもなかなかそういったところは難しいというところも実際にはございます。</p>
<p>渋谷委員</p>	<p>すいません。そうは言っても昔というか以前と比べたら景観に対しての市民の考えも随分変わってきているんじゃないかなって思うんですね。諦めずにやる必要はあると思うんですけど、それで市民にどういう風に魅力に感じてもらえるかっていうことはすごく大きなポイントだと思うんですね。せっかくお金を掛けて作るこれも魅力を感じてもらえるものじゃなくちゃいけないと思うので、先ほど提案したこともそこに含まれるんですが、今ちょっとずっと拝見していくと例えば西公園通り地区お城に向かう地区ここも大事なところだと思うんですけども、これ守りたいビューポイントっていうのは、むしろ左の所に緑で書いてある青葉通りの西公園角から見る青葉山とかね。そういうのがビューポイントなんじゃないのかなって思うんですけど、いかがですかね。</p> <p>ビューポイントっていうのをそういう建物を含めたっていうんじゃなくてそういう自然系の物も日本人にとっては大事な景観なので、それも外してほしくないって思う。</p> <p>そうやって見ると、こうやってポイポイ出てくるのでやっぱりこういう委員会とかで問題になったことをちゃんと検討する必要があるんじゃないかと思うんですね。</p> <p>それでですね、景観マップの中で例えば警察署大町交番ってこれ景観を逆に損ねているものじゃないかと失礼ながら設計した人に申し訳ありませんが、私は一市民としてそう感じているんですねいつも。</p>
<p>巖 委員</p>	<p>どこですか？</p>
<p>渋谷委員</p>	<p>西公園通りの 5 番。これは景観を損ねているものだと常々思っているものが載ってたりね。載らなくていいような建設業会館が載ってたりね。私それは資源じゃないと思います。</p>
<p>巖 委員</p>	<p>これは個別の建物に焦点当ててるから。</p>
<p>渋谷委員</p>	<p>どうやって資源選んだんですか？そこも疑問なんです。</p>
<p>早川係長</p>	<p>資源については基本的にいうと文化財とか景観重要建造物とかそういったもの選ばれているもの。あるいは、重要建造物であれば優先候補に抽出されているものとか、過去の仙台市の景観賞何度かやってますけども、景観賞で一定以上得票があったものを全部リストアップをして、その中から載せていると。先ほど言ったように載せられるだけというのも確かにありますので。</p>
<p>渋谷委員</p>	<p>無理してこう数を合わせる必要はないと思います。無ければないで良いと思うんですね。むしろそれよりも青葉山を望む緑の景観っていうのが大事。写真でっかくしたりすればいいじゃないですか</p>
<p>早川係長</p>	<p>2 番のようなやつですよ？</p>
<p>渋谷委員</p>	<p>そうです。緑の 2 番とかね。こういう変えてほしいものをあえて載せる。</p> <p>それとあと、都市景観大賞でしたっけ？今おっしゃってた都市景観賞。その時の得票って大したことないんですよ。2 票とか 3 票でも本当に応募が少ないんですからそういうものを載っけちゃいけないと思います。</p>
<p>石田部会長</p>	<p>そういうのを景観賞に選んだっていうのは。</p>

渋谷委員	<p>選んでないんです。選んでなくて応募してくるわけですよ、市民がすごく主観で市民はいろんな人がいますから本当に市役所内どころでなくてね。景観上変だと思ふようなカーブミラーとかも。資源として立派だって応募してくるわけですからそういうのを何か、2票とか3票で選ばれたとしても、それをやっぱ専門家の目で見ると必要があると思います。</p>
巖 委員	<p>仙台は特徴としてそんなに大きい町ではないんですけども、発展して近代化・現代化しているとそれこそ昔の職人さんや歴史的建物残っている地域と自然が綺麗な地域。</p> <p>そういう大きいカテゴリー、仙台市の特徴として街として出していきたい枠組みを作ってこれらをちょっとやはり方向性を示してはめていかないと、はめるというか言葉良くないですけど、それをガイドラインの方向性つくってガイドライン作成すると。</p> <p>これからの作業になると思うんですけど、このシートをどう生かして完成させていくかこの街は何を目指すかというのがあって、今のは写真が小さくて仙台に全く訪れたことのない方ですとあんまりイメージがつかめないですよ。</p>
渋谷委員	<p>ちょっと今気が付いたんですけど、すいません。</p> <p>木町通沿道地区で、須藤紙店も田崎質店もこれ応募物件ですよ？景観重要建造物じゃなくて。</p>
早川係長	<p>そうですね。</p>
渋谷委員	<p>応募物件という言葉抜けてると思うんです。</p> <p>前のページの晩翠草堂で景観重要建造物・都市景観賞応募物件ってなっていると、景観重要建造物と誤解されるのでちょっと表現の仕方変えていただきたい。</p>
石田部会長	<p>応募物件っていうのは、今応募してるってこと？</p>
渋谷委員	<p>過去ですよ。だから書かなくていいんじゃない？誤解を招きますよ。賣茶翁もそうですよ。景観重要建造物じゃない。</p>
早川係長	<p>この説明いらぬですね。</p>
石田部会長	<p>よろしいですか？</p> <p>その他でブラッシュアップだとか、この個々のシートについては一枚ずつご意見があると思うのでここで全部を出すというのはとても無理なので、これはこれで何かマーク付けていただいてまた事務局のほうへお出しするという形で。そういう対応をちょっととっていただければと思います。</p> <p>それを一個ずつについては質問あるとして、さっきから見ていると渋谷さんがおっしゃっている川内周辺だとか東北大学のキャンパス周辺のビューポイントは緑しかない。青葉山キャンパスなんてな素敵な建物もきっとあるだろうに、緑しかない。</p>
渋谷委員	<p>ちょっと見直す必要がある。</p>
石田部会長	<p>でこぼこがあって、それは一枚ずつは議論するのはやめて、そういう視点が必要ですよということで議事録にはまとめていただいて、思いつくことをマーキングして戻していいですよ。お願いできればと思います。それ以外にブラッシュアップだとかそれからもっと市民へのアプローチっていうか浸透だとかいうところで何かご意見が他に、ずいぶんたくさん出していただいて、他に何かありますでしょうか？</p> <p>よろしいですか？じゃあ、今意見を出していただいて今日はこれの意見だけに出来ればそれでいいのかな？</p>

早川係長	はい。
石田部会長	<p>僕がまとめる必要もないんですけど、ちょっと僕なりに皆さんの意見を少し整理しますと巖先生がおっしゃったこれのもとになる例えば仙台の景観ってなんですかっていうのは渡辺さんにも前杜の都って一体なんだ、というシンポジウムをやりましたけどもいろんな切り口があってこれは常に議論すべきところだと思いますね。</p> <p>震災後いろんな見方があってそういうシンポジウムやっていただきたいんですが、仙台の景観ってなんなんだ？杜の都ってなんなんだ？っていう議論はやっぱ常に続けてって、続けた結果を表に出す。こういう議論が土台になって景観というものが成立をしているんだよ、その上に地域のいろんな部分の景観というのがあるんですよということですね。</p> <p>その部分の景観を議論する上で、こういうシートを33枚のシートを作っていたらこれはもうありがたいことなんですけど、このシートがやっぱり魅力的でなければいけない一つとしては名前があまりに殺伐とする。</p> <p>国道何号線とかやめましょうね。これはこれでまた一つの議論にしましょう。それから、文化的だとか文明的だとかっていう視点を入れるんであればビューポイントっていう中に建物だけじゃなくて自然あるいはその他の例えばお祭りみたいなのがビューポイントにあっても僕はおかしくはない。それはもう文化的なビューだと思うんですね、文明的で。</p> <p>そういうものが入ってもいいと思うな。っていう気が皆さんの口からは出なかったんですけども、皆さんの意見も反映させるとそういう切り口もあるのではないかと思います。</p> <p>それから、せっかく作ったものを更に良くする為のブラッシュアップということに関して言えば大勢の大半の意見の方が市民のボトムアップ。それも小学生からあるいは商店までっていうか商店街まで。そういう方々のボトムアップが必要ですね。子供たちにとってみればそういう出前事業とか総合学習というところで、出前事業みたいなものをひとつのアクションとして、要するに客観的に景観というものを地域というものを客観的に見るということだと思いますけど。その一つのドアの開け方が景観というものがあって、そういうものを見ていってその中には渡辺さんとかおっしゃった様なつくる・守る・育む、そういう概念を織り込んでいってということが必要なんでしょうね。</p> <p>だからこれは大事なことだと思いますね。それから渋谷さんが何度もおっしゃったんですけど、じゃあこういうものが今度は部分としてのシートから全体感を持たせて、それが巖先生がおっしゃるような仙台の景観につなげるには、イベントみたいなのもいいんじゃないかと、要するに各々のシートをつなぐブリーチングするものとして、例えばこのシートを通して失ってはならないものはなんですか、あるいはより新しく作りたいものはなんですか、渋谷さんの言葉を借りると残したいもの、変えたいものそういう風な概念とか一つの具体的なアプローチとしては道草マップみたいなもの。そういうものがイベントとして定期的に皆さんが議論できるとか、一緒に歩こうねとか、そういうアクションっていうのをやっぱセットにしないと。作って印刷をしてどうぞ自由にお持ちくださいっていうので終わってしまうのではじゃだめでしょ。</p> <p>そういう繰り返しの中でこういうシートが本当におらの町のシートだろうっていったみんなが勝手に常に持ってって、人が来たらこれって自慢が出来</p>

	<p>る様な、そういう風に最終的にはなってほしい。というようなことをみなさんおっしゃったんじゃないかと思いますが、足りないところがあったら話してください。</p> <p>ということなんで、その部分のポイントをちょっとまとめて28日はどうするんですか？28日に少し経過報告しますか。</p>
糸賀課長	<p>今日のところを踏まえて事務局のほうから経過報告をさせていただいて、その上で、部会長からという形でも結構ですし、せっかくの機会なので各委員からお一言ずつ総括的に将来に向けての建設的なアドバイスのようなところも含めてご意見をいただいて、そういう形で一つの区切りをつけたいと思います。</p>
石田部会長	<p>是非是非そうしましょう。大変素敵な意見がでたと思います。私のほうからはこれで。</p>
5. 閉会	
事務局	【閉会の言葉・連絡事項】